

ながはま 社協だより

2021.9.1

61
号



社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会
〒 529-0341 滋賀県長浜市湖北町速水 2745
長浜市役所湖北支所 3階
TEL.0749-78-8294 FAX.0749-78-8800



ホームページ



Face book



地域を支える人たち

フードバンクながはま

特集

長浜市成年後見制度利用促進基本計画が策定されました

地域を支える人たち



Vol. 31

食でつながる助けあいの輪

フードバンクながはま

近年、地域住民による民間発の取り組みとして、無料で食品等を提供する、フードバンク活動が全国に広がっています。長浜市で活動する「フードバンクながはま」設立者である村山さおりさん・メンバーの前田智博さんに活動に懸ける思いを聞きました。

設立者 **むらやま 村山さおりさん** (写真:左)
 まえだともひろ
 メンバー **前田智博さん** (写真:右)

食品ロス対策に地域資源を活用

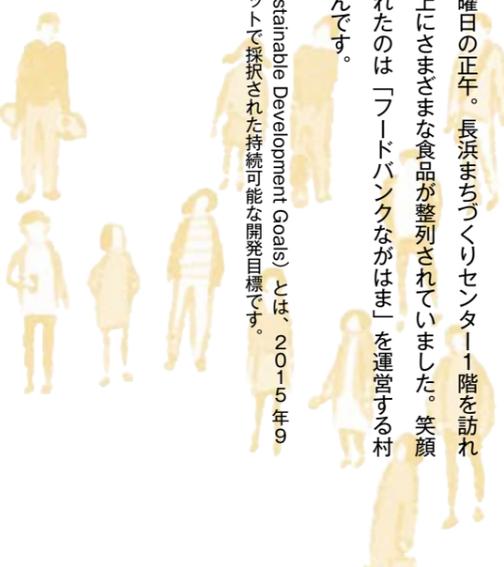
子ども食堂から次の段階へ

日本の食品廃棄量をご存知でしょうか。平成30年度の農林水産省の食品ロス量の公表によると、年間2,531万トンの食品廃棄物が出され、このうち、まだ食べられるのに廃棄されている食品、いわゆる食品ロスは600万トン。これを国民一人当たり換算すると、お茶碗約1杯分の食べ物が毎日捨てられることになるかとされています。この食品ロス削減に関する施策の一つとして、フードバンクの活動が注目されています。食品ロス削減は、SDGs目標の12番目である「つくる責任つかう責任」に関係します。2030年までに小売・消費における一人当りの食品廃棄量を半減させ、食品の損失を減少させることが目標となっています。

フードバンクとは、様々な理由で廃棄されてしまう食品を、困窮世帯や施設、団体などに提供する活動であり、「企業や個人から寄贈された食品を、様々な利用者のもとへ届ける」という流れを生み出します。これが銀行の仕組みに似ていることから、フードバンク（食品の銀行）と呼ばれるようになりました。最近では、食事を提供し生活に困窮する人々を支援するだけでなく、地域のコミュニティとしての役割を担っています。

とある土曜日の正午。長浜まちづくりセンター1階を訪れると、机の上にさまざまな食品が整列されていました。笑顔で迎えてくれたのは「フードバンクながはま」を運営する村山さおりさんです。

※SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標です。



多くの方へ提供できます。それからスタッフの協力も欠かせません。また「農園から野菜などが届く場合もあります。新鮮な野菜を提供できるのは長浜だからこそです。さまざまな協力者なくしては、運営は難しいので、ありがたい気持ちでいっぱいです。」と感謝の思いを話してくださいました。

「誰もが自宅にある少し余ったものを気軽に寄付できる感覚になればフードロスを削減しつつ、必要な方へ届けることができます。人と人との思いをつなげられる活動にしていきたい。」と、今後の理想を力強く語られました。

「食品ロスを減らして必要な方へ届けられるように」というコンセプトを貫き、取り組みを継続していき、新しい活動も考えていきたい。と前田さんは強い意志を語ってくださいました。食をとおして思いやりのある地域づくりへ。フードバンクから生まれた絆のネットワークを広げられるように、今後も活動を続けていけます。

めらう方もいます。そんな問題を解消するため、積極的な広報活動を行い、公共団体や企業を通して広く情報を拡散できるように努められています。

また、配慮しなければいけない事として食品寄贈に伴うリスクがあります。もしも問題が起こった際、企業へ直接問い合わせがいく可能性があります。善意で寄付をしているものが裏目に出してしまうことは避けなければならぬと危惧されています。そうした問題を避けるべく寄付を行う企業側や、利用者への説明を徹底されています。



食材は地域住民と企業が無償提供

美味しい・嬉しい工夫が満載

運営には、地域住民・企業・団体の協力が不可欠です。住民の方からの寄付をはじめとして、企業からは、多くの食材やお弁当、食材を保管する場所としてアパートが無償提供されています。「廃棄にならなくてよかった。必要としている人に渡すことができ、自分にも何かできることがあるのだとわかってよかった。」といった声も聞くようになり、食材の寄付なども少しずつ増え、長浜のまちに支えあいの輪が広がっていくのを感じられます。

「おかげさまでたくさんの方からの寄付を頂いているので、

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困っている人を支援したいという思いから、フードバンクながはまの活動が始まりました。現在は、赤い羽根共同募金の助成を受けて、9月末までの事業として予約制のお弁当の配布を毎週土曜日13時から、長浜まちづくりセンター1階にて開催しています。また全国的に緊急事態宣言が出されていなかった今年の2月と4月には炊き出しを実施されました。

フードバンクの運営にあたり、認知度不足は課題の一つです。全国での認知度は高くなってきていますが、まだまだ浸透してきているとは言いがたいです。フードバンクながはまでもPR活動を行っているが、情報を把握していない人が多くいると実感している。と村山さん。主な広報手段がインターネットを活用したソーシャルネットワークであり、素早く情報発信ができるというメリットはありますが、インターネットと馴染みが薄い層へ情報が行き届いていないという課題があげられます。また、自分は利用してもいいのだろうかという



食品から日用品までさまざまな寄付が提供されています。

INFORMATION

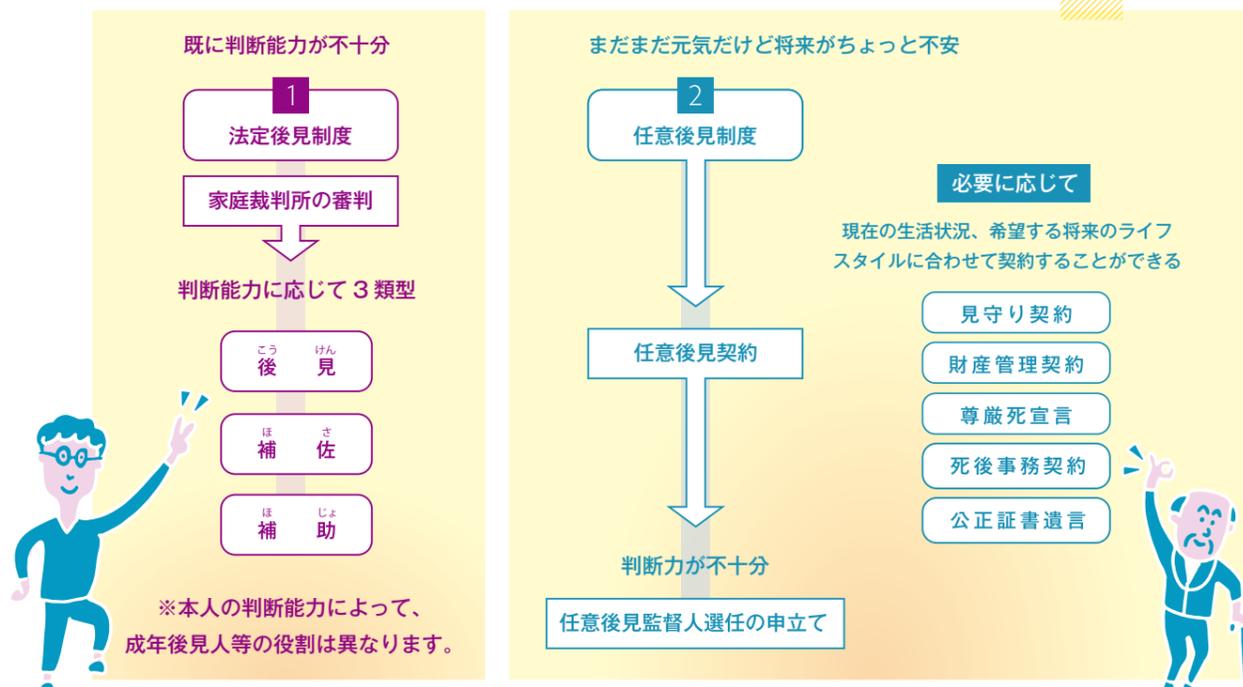


活動内容は [Facebook](#) @foodbanknagahama をチェック!
 Facebook @foodbanknagahama をチェック!
 お問い合わせ 090-4038-8899 (担当 村山)
 LINE@ Facebook

解説 成年後見制度とは

認知症、知的しょうがい及び精神しょうがい等により、判断能力が不十分になった方について、家庭裁判所に申立て、成年後見人などを選任し、権利と財産を守る制度です。

制度には、大きく分けて **1 法定後見制度** と **2 任意後見制度** があります。



成年後見制度の普及・啓発や相談などの活動にご協力いただけるボランティア(サポーター)の育成を目的とした講座を開催いたします。お申し込みは下記までご連絡ください。

対 象: 長浜市在住で20歳以上の方 ※原則、講座の全課程を受講できる方
 受講定員: 10名程度
 会 場: 湖北福祉ステーション(長浜市湖北町速水 1860)
 申 込: 令和3年9月10日(金)まで
 受 講 料: 無料

成年後見・権利擁護
サポーター養成講座
受講者募集

	開催日時	講座内容
第1回	令和3年9月30日(木) 13:30~15:00	成年後見制度概要及び必要性、制度を利用した生活支援事例 ~成年後見制度の内容や支援の基本について~
第2回	令和3年10月7日(木) 13:00~15:30 ※開始時間が他の回と異なりますのでご注意ください	知的しょうがい者・精神しょうがい者への理解及び相談援助の方法 地域福祉権利擁護事業の概要
第3回	令和3年10月14日(木) 13:30~15:00	認知症への理解及び相談援助の方法
第4回	令和3年10月21日(木) 13:30~16:00	社会保障と消費生活の理解 ~年金制度や医療保険制度、消費者トラブルの救済について~
第5回	令和3年10月28日(木) 13:30~16:00	後見事務の方法 ~成年後見制度の申立て方法について~

お申込み・お問合せ 地域福祉課 / 長浜センター :TEL 0749-62-1804 木之本センター :TEL 0749-82-5419

特集

令和3年4月

長浜市成年後見制度利用促進基本計画

が策定されました



認知症や知的しょうがい、精神しょうがいなど、財産の管理や日常生活等に支援が必要な方たちの権利擁護支援のニーズと地域社会全体での支援体制が課題となる中、平成28年5月に施行された「成年後見制度の利用促進に関する法律」に基づき、長浜市では、令和3年度より「長浜市成年後見制度利用促進基本計画」がスタートしました。意思決定支援や身上保護を重視した支援、後見人等を含めた「チーム」による本人の支援、ネットワークの構築を行い、どの地域に住んでいても、安心して成年後見制度を利用してメリットを感じられる制度となるよう取り組んでまいります。

1. 基本理念

一人ひとりの意思や権利が尊重され 自分らしく
安心して暮らせる共生のまち

2. 計画目標と取り組みについて

基本理念の実現に向け、計画の目標を設定し、大きく分けて4つの施策に取り組んでいきます。

○計画目標

一人ひとりの意思決定を支援し皆が住み慣れたまちで自分らしく生き安心できる地域づくり

○取り組み

- ① 成年後見制度の普及促進
- ② 成年後見制度の利用支援
- ③ 中核機関の設置と運営及び機能と業務
- ④ 権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり

3. 長浜市成年後見・権利擁護センターについて

基本理念の実現を目指し、中核機関として地域の権利擁護支援や成年後見制度の適切な利用促進機能の強化に向けて運営を行います。また、地域福祉権利擁護事業、法人後見事業を行い、認知症や知的しょうがい、精神しょうがいのある方など判断能力が不十分になった方が安心して生活が送れるように支援します。

センターの取り組み内容

- ・権利擁護支援に関する相談
- ・成年後見制度手続き支援 / 成年後見人等の支援 / 地域連携ネットワークづくり
- ・啓発・研修会の開催 など





点字をみんなに伝えたい 福祉教育で大活躍
昭和16年生まれの80歳!

山口美栄子さん



福祉教育の一環として、長浜市内の小・中学生に点字を教
えておられる山口さん。

「点字は右から左にポツポツと穴を開け、出来上がった文字
を裏返しにすると読めるよ」と言つと「なるほど」「すこ
い」と感動してくれるので、子どもたちに少しでも点字を知っ
てもらい、関心を持ってくれたら嬉しいな」とボランティア
活動をされています。

山口さんが点字を始めたのは、昭和63年に読書会研修
旅行で点字の先生と出会う
たことがきっかけで、それ
以来、コツコツと点字を習
い、ボランティア活動を始
められました。これまで短
編や昔話を点訳された一部
を市内の図書館へ寄贈され
ています。



て、毎朝ラジオ体操をすること、外に出て、人と出会って話
をして笑うことです。外に出ることで、頭を使うことも多い
から認知症予防にもなるんやで」と元氣ハツラツで話しをし
ていただきました。

ボランティアグループ紹介

中野民謡クラブ

花水木さん

平成23年より、人が寄っ
て、何かみんなで楽しく、生
涯続けていける事はないかと
思いついて実現したのが、中
野民謡クラブ花水木です。



私たちの活動を
紹介します!



当時から旧虎姫公民館で民
謡を教えておられた方にご指
導をお願いしたところ快く引
き受けてくださり、6名で始
め、認知症の予防と健康のため
にと繰り返し練習しました。2
〜3年経った頃から人数も増
え、中野を始め各自治会の老人

長浜米原しょうがい児者基幹 相談調整センターだより

つつじ作業所の誕生

1983年6月1日、長浜市高月町に11人の利用者として職員
2人体制で「しょうがいのある人々の社会参加を願う家族の
思いとそれを支える人々の熱意によってしょうがいのある人
が共につどい共に働く場」として、「高月町つつじ福祉共同作
業所」が誕生しました。その後、法人格を取得し、事業所の
移転もあり、現在の場所まで44名(登録数)の利用者が就労や
日中活動の場として毎日集います。法人の基本理念の5本の
柱の一つとして「地域で暮らし、働き、文化的、社会的活動
が豊かに進められる事業」を掲げています。

働く楽しさ

現在就労は、地域企業8から9社より下請けの委託を受け
ての作業、そしてパン作りとみそ作りも手掛けています。そ
のほか、地域のボランティアや自治会の協力を受け各自治会
のアルミ缶や段ボール、新聞等の回収を行っています。(アル
ミ缶等の資源回収事業に関しては、広域行政事務センターの
許可を得ています。)

開設当所から利用されている利用者の中には、70歳や、80
歳を超える方もおられますが精力的にお仕事をされていて若
い方のお手本にもなっているそうです。取材に訪れた時も皆
様生き生きと働いていらっしゃいました。



▲野菜の袋詰めの様子



▲地域のボランティアの方が回収してくれた荷物を手分けして運びます。

Vol.4

つつじ作業所さんにお話を伺いました。

地域とつながる日中活動

生き生きと働き活動するつつじ作業所には、心強い支援者
が大勢おられます。

その一つに後援会があり、後援会が主催する交流会は、高月
地区社協が企画する形で一年に二回実施されるほか、民生委
員・児童委員や赤十字奉仕団の団員が定期的に訪問し交流され
ています。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、交
流の範囲が制限され、交流ができない時期がありました。

これからの姿

「地域のふれあいを大切にしながら就労支援・日中活動を充
実させていきたいと思えます。」と施設長。これからも地域の
方々とつつじ作業所との固い絆は続いていきます。



▲高時川河川敷の清掃活動



社会福祉法人 おおぞら福祉会

〒529-0234 長浜市高月町柏原 908 番地
TEL 0749-85-4441 FAX 0749-85-4454

会、サロンやデイサービス、施設からも依頼を受けるようにな
りました。訪問の回数も年々増え、令和元年には年間25回の活
動となり長浜市社会福祉協議会より表彰を受けました。現在は
9名で月に1回集まり和気あいあいと練習しています。

新型コロナウイルスの感染拡大により活動を自粛した時もあ
りました。オンラインによるボランティア活動の依頼があり、
「うまくできるのか。どのようにするのか。」と不安がありまし
たが、いつもの訪問と同じように活動させていただきました。
本番当日は、スクリーンをとおして、デイサービスの皆さま
まとの対面となりました。曲目が進むにつれ、皆さまからユ
ニークな質問もあり、また踊りの合間に手遊びを一緒にした
り、和やかに楽しく過ごす事が出来ました。

私たちも緊張しましたが、皆さまに大変喜んで頂けたと伺い、
楽しい時間を共有出来た本当に良かったと思っております。これ
からも地域の皆さまに喜んで頂けるように、みんなで精進してま
いりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



▲昭和56年のびわ湖国体で使用
された着物です。今もお持ちでお
譲りいただける方、ご連絡お待ち
しています。

掲載記事募集中

ボランティアグループ紹介に掲載する記事を募集します。
自分たちのボランティア活動を知ってほしい方、グルー
プでの会員募集など紹介しませんか?
詳細はボランティアセンターまでご連絡ください。

長浜市社会福祉協議会 地域福祉課 ボランティアセンター
電話0749-62-1804 FAX0749-62-1834

こんにちは No.5 地域包括支援センターです

2021年度4月は、3年に1度の介護保険改正の年です。

日々の業務の中で介護保険制度は介護が必要な人に必要なサ
비스を提供する義務があり、「高齢者の増加」「支え手の減少」な
ど、急速に人口構造が変化するなかでも、安心できる老後の生活の
支えとなる必要があります。制度の課題として、持続可能性が確保
された制度となることです。財源を確保するために負担と給付のバ
ランスを図ったり、介護状態が重度化しないよう介護予防を強化し
たり、地域包括ケアシステムを充実、新型コロナウイルス感染や災
害等の影響など、介護業界には財源不足や人手不足、少子高齢化な
どさまざまな課題があり次回は2024年改正が行われます。今回
の改正でも「介護保険料の負担年齢を30歳への引下げ」「居宅介護
支援の自己負担1割の導入」など制度の持続可能性に関わる論点
が先送りされました。日々の業務の中で、要支援要介護認定者は
年々増加の一方、ケアマネジャーの人数は横ばいで、ヘルパーや訪
問看護事業所がなかなか見つからない、特別養護老人ホームの利用
を希望しても何百人待ちという現状があります。今後も私たちの生
活に影響がある介護保険法の改正情報に
注目していきたいと思えます。地域包括
支援センターに寄せられる地域住民やケ
アマネジャー、医療機関等からの相談に
おいても認知症、一人暮らし、介護孤立、
身寄りなし、セルフケア不足など課題は
複雑・複合化しており、介護保険制度だ
けでは解決が難しく、多様な機関、地域と
の連携が不可欠になっています。介護保
険制度の活用は相談だけではなく、多様
な課題に対応する相談機関として地域の
方のお役にたてるように努めていきたく
と思えます。



令和2年度事業報告



1

コロナ禍で地域交流活動の減少や希薄化などが進む中で、地区社協・福祉の会や民生委員・児童委員、ボランティア等と連携し、コロナに負けない地域福祉活動を行いました。



ながはまおもいつながるプロジェクト（フードドライブ活動）地域で支えあい助け合う関係（絆）づくりの推進



失業・収入減少等で経済的な困窮を抱える世帯に対する生活相談・生活福祉資金の貸付業務を県社会福祉協議会と連携し実施しました。

様々な福祉活動に取り組みました



2

市行政との協働による、生活支援体制整備事業、地域共生社会推進、成年後見権利擁護センター、しょうがい児者基幹相談調整センターの機能充実と活動の推進に努めました。

3

感染予防を徹底し、在宅サービスのあり方の模索に努め、機能訓練や入浴などそれぞれに特化したサービスができる事業形態に変更しました。また、人員配置や変形労働制への見直しを行い、時間外労働の削減を図り、職員のワークライフバランスの実現に努めました。

4

施設介護では、コロナの終息が見えず様々な制限がある中でも、利用者家族との関係や現在のサービスの質を低下させないための取組みを行いました。また、設備面でも見守り機器の全床導入を行い、より安全な介護の実施と介護負担の軽減を図りました。

5

3カ所の地域包括支援センターを運営（市委託）し、高齢者課題及び介護の身近な相談窓口としての機能充実を行いました。

6

本会が持つ介護技術を生かし、一般及び外国人向け介護職員初任者研修を実施し、本市の人材育成に貢献しました。



会長就任のご挨拶



社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 会長 平井和子

この度の長浜市社会福祉協議会役員改選に伴い、理事の皆様のご推挙とご賛同をいただき、会長の要職を拝命いたしました。

微力ではございますが、これまでの地域での経験を踏まえ、長浜市社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉の充実に向けて、努めてまいりますので、皆様からのご指導のほど、よろしく願います。

昨年からの新型コロナウイルス感染拡大により、生活環境はもちろん、社会福祉を取り巻く情勢も、大きく変化をしております。少子高齢化社会、生活困窮等の課題だけでなく、社会的孤立など様々な問題が顕在化・複雑化してきております。

このような中、地域社会における福祉のニーズはますます増大かつ多様化しており、社会福祉協議会が果たす役割は極めて重大なものであると認識しております。

今後も、市民の皆様への信頼と期待に応えるため、役員一丸となり、地域福祉の推進に努めてまいります。皆さまの温かいご支援とご協力を切にお願い申しあげて、会長就任のご挨拶といたします。

新役員の紹介

理 事	
会 長	平井 和子
副会長	湧口 正男
副会長	堀 直美
	清水 学
	杉山 好和
	鈴木 茂喜
	大橋 知子
	伊藤 彰彦

評 議 員	
吉村 三津子	山口 幸代
大西 秀一	福永 喜栄子
藤田 與史雄	伊藤 悦子
芳井 悦雄	角川 智子
中川 泰彦	羽淵 久晃
松見 学	森 久子
浅井 徳子	美濃部 裕道
栢割 孝一	五嶋 治朗
赤沢 勝也	吉川 嘉枝
	狩野 典子

監 事	
中島 継郎	
河毛 貞子	

令和2年度 決算報告

(単位：千円)

前期繰越金	338,073
介護保険収入	1,174,947
受託金収入	299,079
補助金収入	132,793
その他	171,440

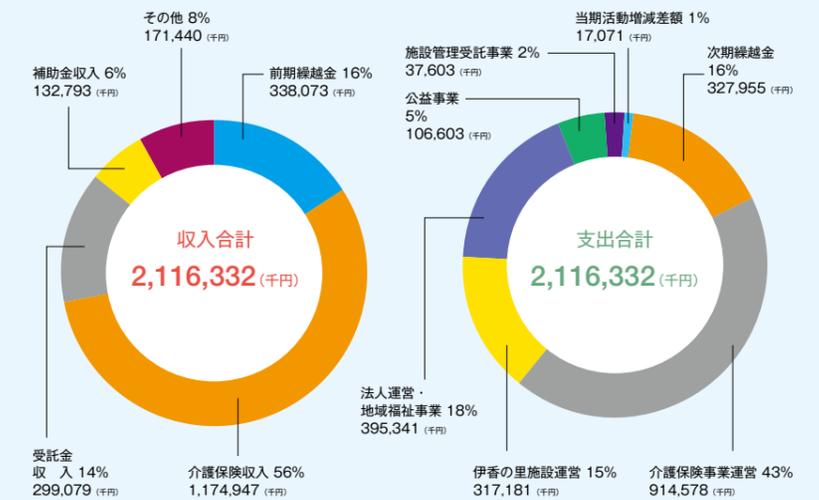
収入合計 2,116,332 (千円)

(単位：千円)

介護保険事業運営	914,578
伊香の里施設運営	317,181
法人運営・地域福祉事業	395,341
公益事業	106,603
施設管理受託事業	37,603
当期活動増減差額	17,071
次期繰越金	327,955

支出合計 2,116,332 (千円)

【令和2年度 一般会計決算のあらまし】



赤い羽根共同募金



スマホからも募金できます。



- 地域で集めた募金は、集めた地域で使われます。
- 災害支援活動にも共同募金は使われています。

歳末たすけあい運動

- 一人暮らし高齢者等歳末おせち料理配食事業
- 一人暮らし高齢者等歳末掃除支援事業
- 要保護世帯図書カード支援事業
- 緊急用食料給付事業
- 福祉施設・団体等歳末行事支援事業
- 特別支援学級学用品支援事業
- 小児病棟クリスマス事業

長浜市内では、12月に左記事業の実施を予定しています。



今年も、10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まります。

赤い羽根共同募金運動は、みなさまの温かい善意を地域福祉の充実のために、また、ボランティア活動や福祉施設の整備・充実などの社会福祉事業に役立てられています。市民のみなさまのご理解とご協力をよろしく願っています。

ほのほのかけはし～みんなひとりじゃないだよ～

養護学校や特別支援学級に通う子どもの保護者を対象に、子ども達の心と体の健康や進路について学び、また、保護者同士の交流をととして、不安な気持ちを少しでも解消できることを目的に学習会を開催します。

- 対象者**
- 養護学校、小・中学校の特別支援学級に通われている子どもの保護者
 - 療育センター園児の保護者
 - その他、しょうがいのある子どもの保護者

日時	内容	会場
9月16日(木) 10:00～12:00	ワークショップ ～ハベット人形の制作体験～ おしゃべりしながら、楽しくハベット人形の作成をしましょう♪	高月福祉ステーション 長浜市高月町西物部 73-1
10月15日(金) 10:00～12:00	いざという時のために！ ～防災について学びましょう～ 近年多発する災害への対策はコロナによって変化していることもある！?改めて防災について学びましょう	高月福祉ステーション 長浜市高月町西物部 73-1
調整中 11月1日(日) 午前中を予定	職場見学(予定) 「実際の職場に足を運んで見学しませんか？」	調整中
11月25日(木) 10:00～12:00	かけはしカフェ ～情報交換会～ ゲストを交えてわが子の性や困りごとについて気軽に話し合しましょう!	高月福祉ステーション 長浜市高月町西物部 73-1

お問合せ 地域福祉課長浜センター TEL 0749-62-1804

善意銀行

令和3年4月16日～令和3年7月31日

金銭口座(敬称略)

氏名	金額(円)
長浜市市職員二七会一同	80,913
藤田治彦	4,000
こあじさい	20,000
(株)明豊建設 安全衛生協力会	117,000
扶桑工業株式会社	200,000
ワークマン長浜店	8,986
匿名(4名)	39,588
合計	470,487

物品口座(敬称略)

氏名	金額(円)
辻幸也	衣服
真野智美	老人車 2台、歩行器 1台
鎌田牧子	衣服
小足宮子	衣服
杉山治男	紙パンツ用尿取りパット、薄型パンツ
伊藤一馬	紙おむつ
畑弥生	タオル
匿名(6名)	オムツ類、タオル、バスタオル、石鹸、子供用品、 精米 10Kg、布団 2セット、洗剤、衣類

親子にこここひろば

地域の未就園児等を対象に、子どもの豊かな表現力を高めることと親子の絆を深めるため、子育て広場を開催します。また、保護者同士の交流により、子育て環境の充実を図ります。ご参加お待ちしております。

①アロマ教室 講師:吉岡絵梨さん

【長浜北部福祉ステーション】 10月13日(水)
【長浜東部福祉ステーション】 10月21日(木)

②リトミック 講師:金子美幸さん

【長浜北部福祉ステーション】 11月10日(水)
【長浜東部福祉ステーション】 11月18日(木)

- 時間** 10:00～11:00(受付開始9:30)
- 対象** 長浜市内在住の未就園児とその保護者
- 定員** 2会場とも、各回10組
- お申込み** ただいま受付中 ※定員になり次第受付終了。

各会場へ電話で申し込みください。
長浜北部福祉ステーション ☎0749-65-8266 (長浜市神照町288-1)
長浜東部福祉ステーション ☎0749-65-6266 (長浜市東上坂町1000)

- 持ち物** お茶などの水分
タオル
参加費(1組200円/回)



地域の繁栄に奉仕する長浜金融協議会

滋賀銀行
長浜信用金庫
京都銀行
関西みらい銀行
大垣共立銀行

レーク伊吹農業協同組合

琵琶湖と伊吹山に囲まれたJAレーク伊吹は
人と自然と街を愛で優しく包みます。



〒521-0062 滋賀県米原市宇賀野280番地1
TEL:0749-52-6520(代) http://www.lakeibuki.jas.or.jp

※新型コロナウイルス感染予防対策として、参加者様のマスクの着用、手指の消毒、検温にご協力ください。講座開催時は、参加者様同士の距離の確保、会場内の換気等を実施いたします。
※本事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を延期または中止する場合があります。

主催 長浜市社会福祉協議会

みんなおいで～おもちゃ図書館

おもちゃ図書館は未就園児とその保護者を対象になります。
イベントは事前申込が必要です。(定員になり次第、受付を終了します)
下記の問合せ先までお申込み下さい。

ハーバリウム

日時 9月15日(水)
10:00～11:30
会場 虎姫生きがいセンター

リトミック

日時 10月20日(水)
10:00～11:30
会場 虎姫生きがいセンター

アロマ

日時 11月17日(水)
10:00～11:30
会場 虎姫生きがいセンター

アロマ

日時 9月28日(火)
10:00～11:30
会場 木之本福祉ステーション

小麦粉粘土

日時 10月26日(火)
10:00～11:30
会場 木之本福祉ステーション

リトミック

日時 11月16日(火)
10:00～11:30
会場 木之本福祉ステーション

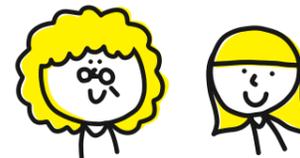
各イベントの定員

親子 10組 / 参加費 1人 100円

通常開放日とお問合せ先

開催 毎月第2、3水曜日 10:00～11:30
会場 虎姫生きがいセンター(宮部町3445)
お問合せ TEL 0749-73-2656

開催 毎週火曜日 10:00～11:30
会場 木之本福祉ステーション(木之本町千田53)
お問合せ TEL 0749-82-5419



在宅介護者のつどいを開催します

在宅で介護をされている方向士の交流による情報交換やお喋りでリフレッシュしましょう。

内容	日時	会場	参加費	定員
5年後の私の人生について 考えてみませんか?	9月22日(水) 13:20～15:00	長浜まちづくりセンター 2階多目的ホール (高田町12-34)	無料	20名
陶芸体験	10月27日(水) 13:20～15:00	湖北福祉ステーション (長浜市湖北町速水 1860)	500円	20名

お問合せ 地域福祉課 長浜センター TEL 0749-62-1804

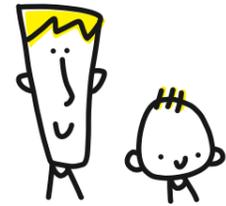
イオン長浜店×神照郷里地域包括支援センター合同イベント ～はじめましょう認知症予防生活～

認知機能維持・改善のための体操(コグニサイズ)や、認知機能チェック・血管年齢測定コーナー、認知症関連情報コーナーのイベントを予定しております。認定看護師や薬剤師、福祉事業所の相談員による相談コーナーも設置しますので、お近くにお立ち寄りの際は、ぜひお気軽にお越しください。

日時 令和3年 10月15日(金) 10:00～15:00
会場 イオン長浜店1階薬局隣フリースペース(長浜市山階町271-1)
参加費 無料
お申込み コグニサイズは申し込み制(事前予約10名程)
その他のコーナーについては、どなたでも予約不要でお越しいただけます。
お問合せ [平日] 神照郷里地域包括支援センター TEL0749-65-8267
[土・日・祝] イオン薬局長浜店 TEL0749-68-5550



催し物等
紹介



冒険遊び場を開催します!

自由な発想で遊び尽くす子どもが主役の遊び場です。
子どもたちの育ちと一緒に見守りましょう。

日時 9月11日(土)、10月16日(土)、11月13日(土)
10:00～15:00(各日、悪天候時は翌日曜日に順延)
内容 自然の中で自由に遊びます。また、たき火や弓矢作りを予定しています。
※内容は各回によって変更があります。

- 持ち物** 帽子、水筒、着替え
※昼食は各自でご用意ください
- 対象** 園児～小学生
(大人の方もぜひ一緒に参加ください)
- 会場** 浅井ふくらの森(道の駅浅井三姉妹の郷裏)
(内保町 2843)
- お問合せ** 地域福祉課 長浜センター
TEL 0749-62-1804

えんかふえ

～ひきこもりがちな若者
学校に行きづらい子どもの居場所～

気楽に自由な時間を過ごせる居場所を開催しています。本を読んだり、ゲームをしたり、おしゃべりしたり、ほーっとしたり…。
ひとり、親子で、友達と…、保護者だけの参加も大歓迎です!ぜひお越しください。

日時 毎月第1・3木曜日
(祝日の場合はお休みです)
13:30～16:30
会場 びわ高齢者福祉センター(難波町 483)
参加費 無料
お申込み 不要です
(当日会場にお越しください)
お問合せ 地域福祉課 長浜センター TEL 0749-62-1804

地域福祉活動計画に基づいた
各地区の取り組み紹介

高 時

「高時のまなびや」 暮らしの支えあい検討会

(木之本町高時地区)

地域福祉活動計画とは、住民と福祉団体、関係機関、長浜市社会福祉協議会が一丸となって福祉のまちづくりに取り組むための計画です。この計画に掲げた7つの基本目標に「活動を支える仕組みづくり」があります。これは地域福祉活動を盛り上げ、推進するには活動を支える基盤も重要だということです。高時地区では、住民と、関係機関等の連携のもと高時地区地域づくり協議会で、「高時のまなびや」を開催しています。

「高時のまなびや」では、住民の意思をもとに10年先の暮らしの将来像を話し合います。まず地区を知る段階として、それぞれの自治会のお気に入りの場所を紹介し、楽しかったことやしあわせな思い出を地図に書き込み、共有しました。また、これまで取り組んできた地区の活動について共感することをキーワードとして抜き出し、「理想の暮らし」を文章化されました。



高時の取組をカードにすることで、
わかりやすく再認識することができました。



10年後の目標



次に、「理想の暮らし」の実現に向け、現在の活動の取組について考え、これからの取組に向けてお互いの希望が実現につながるように「高時の取組をカードにしたもの」を広げて、改善点やこれからどのように広げていきたいか、などを話し合われました。

このように一つひとつ丁寧にこれまで取り組んできた活動を振り返ることで、参加された方は、幅広い活動に改めて気づききっかけとなり、これからの活動に参加していこうという動機にもなっています。

今後は、「理想の暮らし」という将来像をさらに多くの住民間で共有し、子どもたちとの話し合いや広報活動にも取り組みを広げ、「理想の暮らし」という将来像を高時地区で共有し、子どもから高齢者までが理想的に暮らせる幅広い地域づくりを目指されます。